

《 競 技 方 法 及 び 規 則 》

●サッカーの部

1 競技方法

(1)第1日<1月11日(日)>:予選リーグ>は各組に分かれてリーグ戦を行う。

第2日<1月12日(月)>は、予選リーグ上位1・2位チームが上位2次リーグ、3・4位チームが下位2次リーグへ進出する。その後、上位2次リーグ各組の1位が上位決勝トーナメントへ、下位2次リーグ各組1位が下位決勝トーナメントへ進出する。

(2)試合時間は、30分(15分 - 5分 - 15分)とする。

決勝トーナメントは延長戦を行わず、PK戦(4人目以降はサドンデス方式)により勝者を決定する。

ただし、決勝戦は延長戦(5分ハーフ)を行い、勝負が決しない場合はPK戦(4人目以降はサドンデス方式)とする。

(3)リーグ戦順位は、勝点(勝3点・負0点・分1点)の合計で決定する。

※ 勝点の合計が同一の場合は次の順序で決定する。

得失点・総得点・当該チームの勝敗・抽選の順で決定する。

2 競技規則

(1)審判員について

- 1) 審判服を着用すること。
- 2) 審判員は必ず2名帯同すること(主審のできる者を入れる)
- 3) 審判員の配置について、4人審判制(主審、副審(線審)2名、第4審判員)とする。
- 4) 審判割当ては、組合せ表に記載されている試合を担当する。

(2)競技者について

- 1) 8人制とする。
- 2) ユニホームは正・副色彩が異色のものを2組必ず準備すること。
- 3) アンダーシャツは、チームが同色のもので統一していれば、ユニホームと同色でなくても良い。
- 4) キーパーはユニホーム着用とするが、ビブスでの対応も可能とする。
- 5) スパイク(トレーニングシューズ)・すね当ては必ず着用のこと。

(3)ベンチの制限

- 1) ベンチ内は監督1名、コーチ2名、エントリー選手以外は入ってはならない(ただし、6学年の選手については、エントリー選手以外のベンチ入りも可能とする)(交代人数は自由とする)
- 2) ベンチ内の監督、コーチ、選手は試合中に相手の中傷するような言葉を発したりしないこと。
- 3) ベンチ内の交代選手はビブス着用のこと。

(4)罰則規定

- 1) 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。
- 2) 大会期間中、警告を2回(トータル)受けた選手は、次の1試合に出場できない。

(5)その他

- 1) 現行日本サッカー協会規程のサッカー競技規則による。
- 2) 大会使用球は公認4号球とし、参加チームの持ち寄りとする。
- 3) メンバー表は提出しなくてよい。
- 4) 物を置くなどによる駐車スペースの確保は厳禁とする。見つけた場合にはすぐに撤去を行う。
- 5) 応援はベンチの反対側で応援すること。また、スタンド席での応援は不可。
- 6) 主催者側は大会中の事故・けが等について一切の責任は負わない。